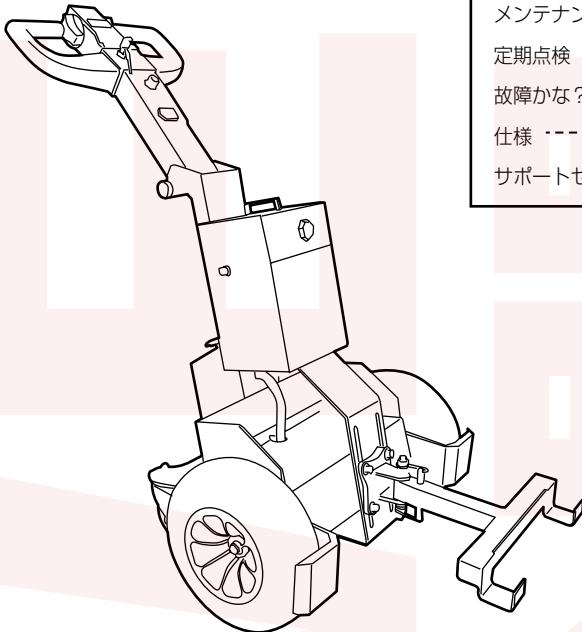


THANKO

型番 : TWMTCASBK

取扱説明書

version1.12 y



安全上のご注意	2 ~ 5
各部名称	6
組み立て方	7・8
カゴ台車の取り付け	9・10
バッテリーの充電	11
バッテリーの交換	12・13
主電源の入れ方	14
モード切り替えについて	14
動かし方	15・16
緊急停止ボタン	17
メンテナンス	18
定期点検	19
故障かな?と思ったら	20
仕様	21
サポートセンターのご案内	22

このたびは本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
この商品を安全に正しくお使いいただくために、お使いになる前に
この取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。

※重要 お読みになった後は、お手元に置いて保管してください。

日本国内専用
Only for use in Japan

保証期間 : 購入日より 12 ヶ月

安全上のご注意

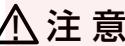
必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。

●表示の説明



取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



取り扱いを誤った場合、傷害を負う、または物的損害が発生することが想定される内容です。

●お守りいただく内容を、次の区分で説明しています。



禁止（してはいけない内容）を示します。



強制（実行しなくてはならない内容）を示します。

- ・火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ご使用前に、この「安全上のご注意」全てをよくお読みのうえ、正しく使用してください。
- ・お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
- ・他の人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

◆電源プラグ・電源コードについて



- ぬれた手で、電源プラグの抜き差しをしない。（感電のおそれ）
- 交流 100V 以外で使用しない。（日本国内専用）（発火するおそれ）
- 乳幼児にプラグをなめさせない。（感電・けがの原因）
- 電源プラグ・充電プラグにピンなどの金属片、ゴミなどを付着させない。（感電・ショート発火の原因）
- 電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねて使用しないでください。また重い物を載せて使用しないでください。（電源コードが破損し、火災・感電の原因）
- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差込かゆるいときは使わない。（感電・発火・火災の原因）



- 電源プラグ・充電プラグは根元まで確実に差し込む。（火災・感電の原因）
- 電源プラグの刃および刃の取り付け面に付着したほこりはふき取る。（感電・ショート・発火の原因）
- 電源プラグ・充電プラグを抜くときは、必ずプラグ本体を持って引き抜く。（感電・発火・故障の原因）
- お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いておこなう。（感電・発火・故障の原因）
- 電源コード・電源プラグを水につけてたり、水をかけたりしない。（ショート・感電の原因）



- 使用後電源コードを本体に巻き付けない。（電源コードが破損し、火災・感電の原因）



- 充電時以外は、電源プラグをコンセントから外す。（感電・漏電・火災の原因）
- 電源コードはすべてほどいて使用する。（感電・ショートの原因）

安全上のご注意

必ずお守りください

◆本体・カゴ台車の取り扱いについて

△警告



- 人や動物をのせない。(けがのおそれ)
- 危険物をのせない。(事故の原因)
- ぬれた場所や滑りやすい場所で使用しない。(事故・けがの原因)
- ネジなど部品がゆるんだまま使用しない。(事故・けがの原因)
- 改造や分解をしない。修理技術者以外の人は分解したり、修理をしない。(火災・感電・けがの原因。故障の際は弊社サポートまでご相談ください。)
- 子供や操作に不慣れな人だけで使わない。幼児の手の届くところで使用、保管しない。(事故・けがの原因)
- 本体のすき間などにピンや針金など金属物や異物を入れない。(感電・けがの原因)
- 直射日光のある場所、ほこりの多い場所、水のかかる場所、高温・多湿になる場所で使用、保管しない。(変形・変色・発煙・発火の原因)
- 本体を水につけたり、水に濡らしたりしない。(ショート・感電・故障の原因)
- 密閉容器に入っていない液体をのせない。(事故・故障のおそれ)
- 高さ 2cm 以上の障害物を乗り越えない。(事故・故障のおそれ)
- 傾斜面で使用しない。(事故・故障のおそれ)



- 製品に異常が発生した場合は、すぐに使用を中止する。(製品に異常が発生したまま使用を続けると、発煙・発火・感電・漏電・ショート・怪我などの原因。)
 - 電源コードや電源プラグがふくれるなど、変形、変色、損傷している
 - 電源コードの一部や電源プラグがいつもより熱い
 - 電源コードを動かすと通電したりしなかったりする
 - 本体がいつもと違って異常に熱くなったり、焦げ臭いにおいがする
 - 本体が動作しない、異音がする など
- 上記のような場合はすぐに使用を中止し、電源を切り、お買い上げの販売店またはサポートセンターまでご連絡ください。)
- 荷物は片側に集中しないように積む。(事故・破損・けがの原因)
 - 急旋回したり急カーブでは荷崩れの可能性があるので減速する。(事故・破損・けがの原因)
 - 使用しないときは、平坦で安定した場所で保管する。(破損の原因)
 - 本製品から離れる時は、電源を切る。(事故・けがの原因)
 - 牽引物との連結が確実であることを確認する。(事故・カゴの暴走の原因)

安全上のご注意

◆本体・カゴ台車の取り扱いについて

必ずお守りください

△注意



- 変形や破損など異常があるときは使用しない。(けが・感電・火災の原因)
- 専用部品以外は使用しない。(故障・けがの原因)
- 倒したり、ぶつけたり、落としたり、強い衝撃をあたえない。(けが・感電・火災の原因)
- 最大荷重を超えて荷物を載せない。(故障・破損・けがの原因)
- 用途以外に使用しない。(故障・けがの原因)
- 屋外では使用しない。(故障・けがの原因)
- 走行中に荷の積み下ろしを行わない。(けがのおそれ)
- 搬送物の横ずりや引きずりをしない。(搬送物の落下・けがのおそれ)
- 「牽引する荷物カゴ」に搭載する荷物は「牽引するカゴ台車」からはみ出さない。(事故・けがの原因)



- 周囲に人がいることを確認し、他の人に近づけないよう操作する。(事故・けがの原因)
- 安定した歩行を心がける。(けがの原因)
- 始業点検を行う。(事故の原因)
- 平坦で凹凸のない場所で使用する。(事故の原因)
- イヤイヤ、牽引部に手足が挟まれないよう注意する。(事故・けがの原因)
- カゴ台車に搭載する荷物の質量が、カゴ台車の質量を含めて 1000kg を超えないようにする。(故障・事故の原因)
- 牽引機を前進する際、停止する際には、「牽引するカゴ台車」の荷物が崩れないないように注意して本製品の操作をする。(事故・けがの原因)
- 本製品で荷物を牽引して前進している際、曲がる際には「牽引するカゴ台車」から荷物が崩れる、落ちることが無いように、ゆっくりとした速度で操作する。(事故・けがの原因)
- 本製品で曲がる際、または方向転換する際には、本製品を前進、後退させることができます。特に本製品を後退させる場合には、ゆっくりと後退させて「牽引するカゴ台車」が意図しない方向に曲がらないように注意する。(事故・けがの原因)

安全上のご注意

必ずお守りください

◆バッテリーについて

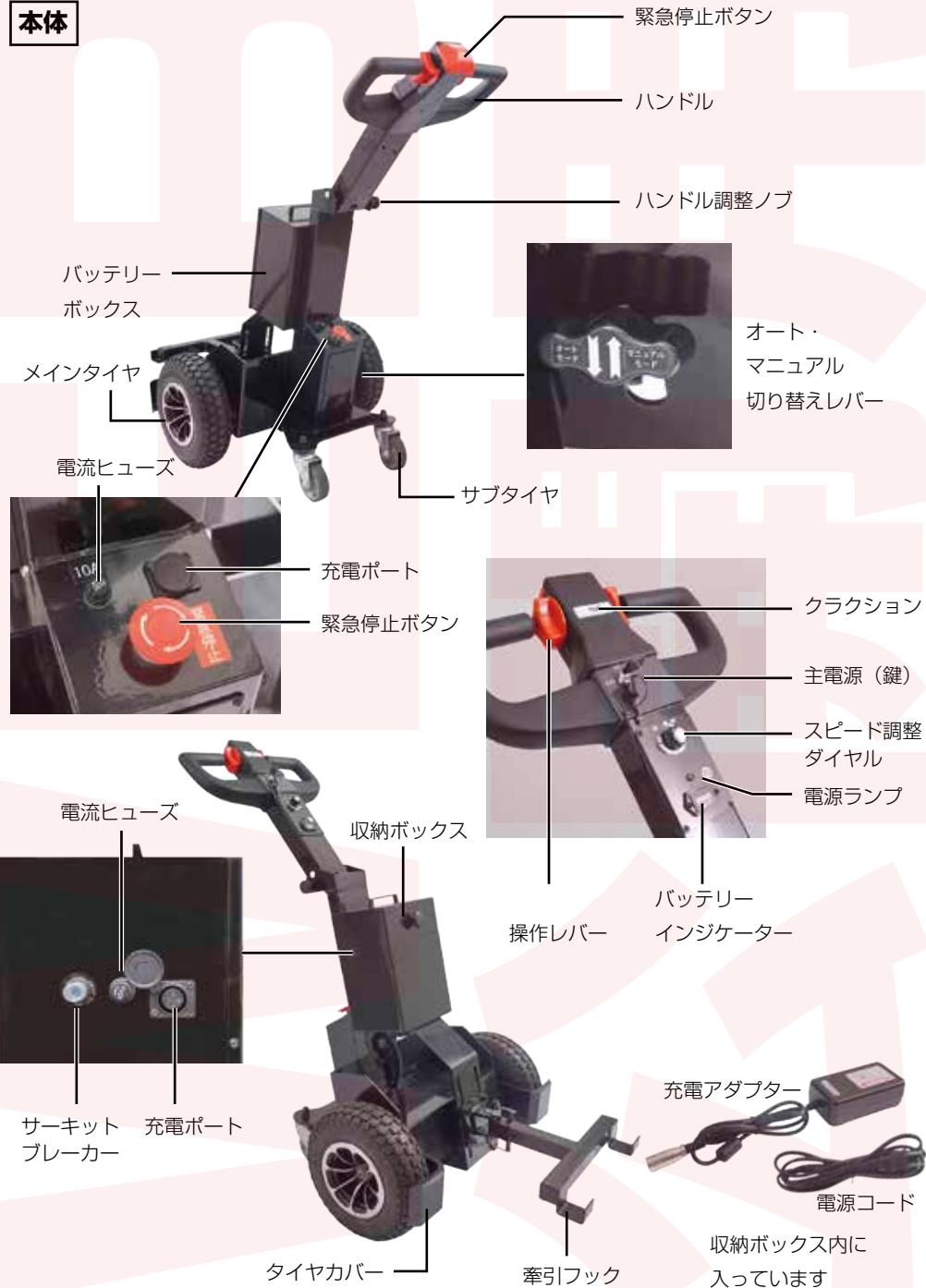
- バッテリーは密閉式の12Vです。
- バッテリーは液入り充電済です。液量点検および補水は必要ありません。
- バッテリーは、充電して保存しても自然に放電しますので、頻繁に充電してください。
充電するときは、周囲の温度が10°C～30°C(人間が快適と感じる温度)の範囲で充電してください。
- 充電中や使用中、バッテリーが温かくなることがあります、異常ではありません。
- 満充電状態で保管してください。バッテリーは自然放電しますので使い切った状態で保管すると使用できなくなる恐れがあります。保管の際は次のように保管してください。
●涼しい場所で保存してください。
低温条件、高温条件、過放電(電池を使い切った状態)、過充電(満充電でも充電器につないだままの状態)状態での保存はしないで下さい。
 - ・1か月に一度は必ず充電してください。消耗の防止になります。
 - ・10°C～35°Cの乾燥した場所で保管してください。
 - ・充電可能回数は約200回です。

●電池のリサイクルについて

本製品のバッテリーはリサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済みの製品を廃棄・リサイクルする場合は、地方自治体の指示に従ってください。

各部名称

本体

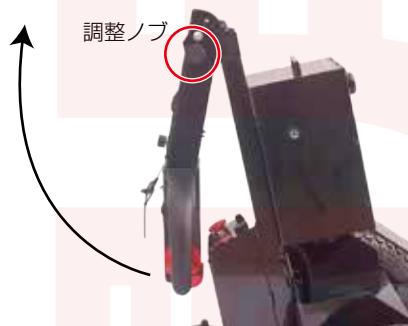


組み立て方

◆ハンドル部を起こす

ハンドル調整ノブを引っ張りながら、ハンドルを上に持ち上げます。

ハンドル調整ノブだけを引っ張ってもハンドルは動きません。ハンドル調整ノブを引っ張る際、ハンドルを軽く上下に動かすと、ハンドル調整ノブが穴から外れてハンドルを動かせるようになります。



調整ノブは回さないでください。調整ノブが外れてしまう場合があります。

ハンドルの角度は3段階で調整が可能です。ハンドルをカチッと音がなるまで持ち上げ、ハンドル調整ノブから手を放し、位置を固定します。



組み立て方

◆牽引フックの取り付け

牽引フックの取り付けには、8mmの六角レンチを別途ご用意ください。



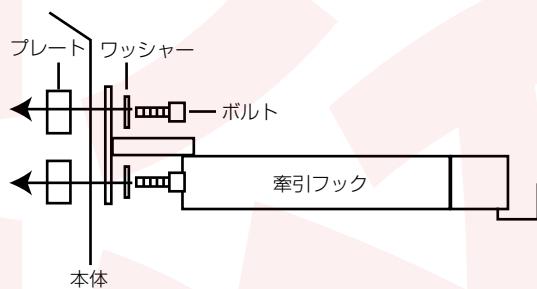
牽引フックの取り付けには、8mmの六角レンチを別途ご用意ください。

牽引フックのボルト穴にボルト、ワッシャーを通し、本体取り付け位置の裏にプレートをあてます。

六角レンチでボルトを回して固定します。



高さ調整を行うため、牽引フックが上下にスライドできるぐらいにボルトを手で回せる程度に緩めに締めてください。



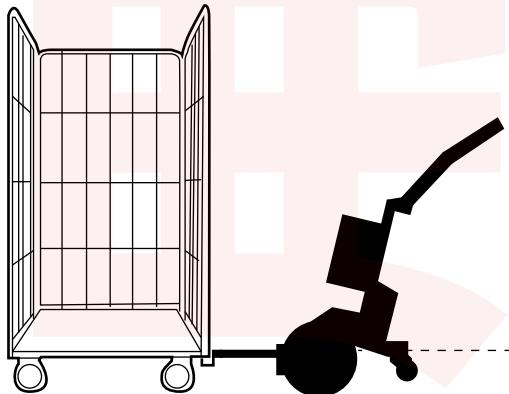
ボルトを緩めに締めて、牽引フックの高さを牽引する物の高さに合わせて調整してください。位置が決まったら、六角レンチでボルトをかたく締めて固定してください。

カゴ台車の取り付け

カゴ台車の底のフレーム部分にフックを引っかけて使用します。カゴ台車の高さに合わせて、牽引フックの高さを調整します。

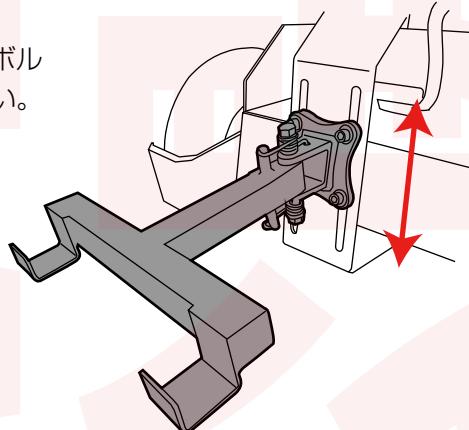
右図のようにカゴ台車と本製品が水平になるように調整してください。

※カゴ台車によっては、使用できない場合があります。



牽引フックの高さを正しく調整しないと、段差を越えられなかったり、牽引フックが外れやすくなったり、カゴ台車の暴走や荷崩れにつながります。牽引フックは必ず正しい高さに調整して使用してください。

位置が決まったら、六角レンチでボルトをかたく締めて固定してください。



カゴ台車自体の重さも含めて、1000kg以上にならないようにしてください。

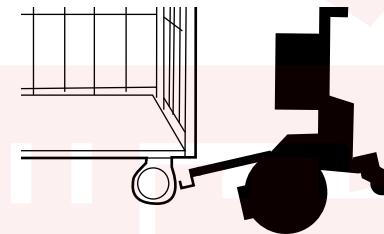
カゴ台車の取り付け

①カゴ台車に向かってまっすぐに立ち、ハンドルを両手で握ります。

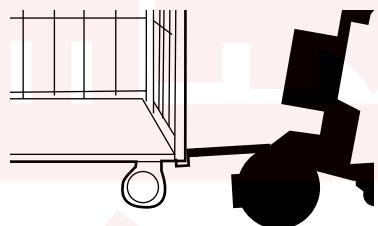
②本製品をカゴ台車の近くまで移動させます。



③ハンドルをまっすぐ前に押すようにして倒すと、フック先端が下がります。本製品を押して、フックをカゴ台車の下へもぐりこませます。



④ハンドルを手前にゆっくり戻しながらフックをカゴ台車に連結させます。

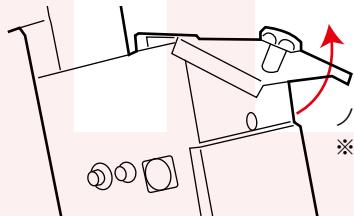


カゴ台車との分離

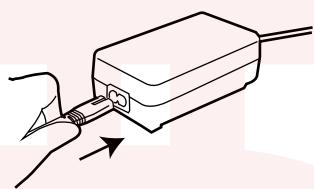
上記「カゴ台車の取り付け」③の逆の手順で、本機をカゴ台車から遠ざけてください。

バッテリーの充電

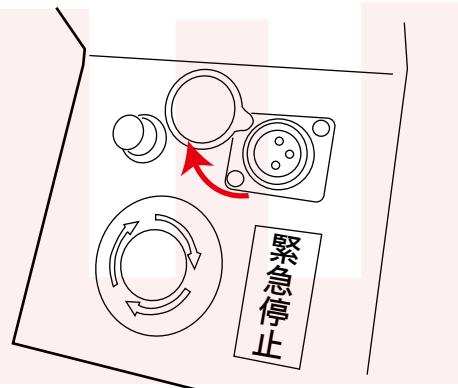
電源ケーブルは、本体の収納ボックスに入っています。充電アダプターと電源コードを繋ぎ、電源プラグをコンセントに差し、充電アダプターをバッテリーに繋げます。約8時間で満充電になります。



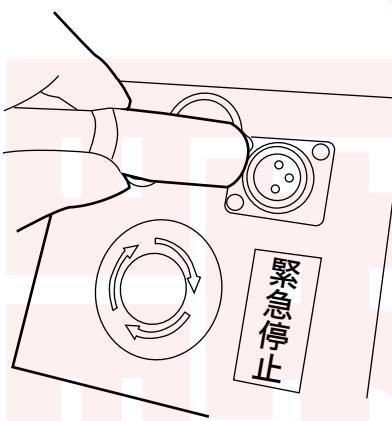
①収納ボックスから充電アダプターと電源コードを取り出します。



②充電アダプターと電源コードを繋ぎます。



③本体の充電ポート、またはバッテリーボックスの充電ポートのカバーを開きます。



④充電アダプターを充電ポートにつなぎ、電源コードをコンセントに差し込みます。



⑤バッテリーインジケーターが全て点灯状態になつたら、充電は完了です。電源ケーブルを抜き、収納ボックスに戻してください。

バッテリーインジケーターはバッテリー残量を10段階で表示します。バッテリーインジケーターのランプが赤色になる前に充電してください。

バッテリーを取り外して充電する、交換用バッテリーを充電する場合は、バッテリーボックス側面の充電ポートに充電アダプターを繋いでください。

長期間使用しない場合は、高温・低温になる場所での保管を避けてください。

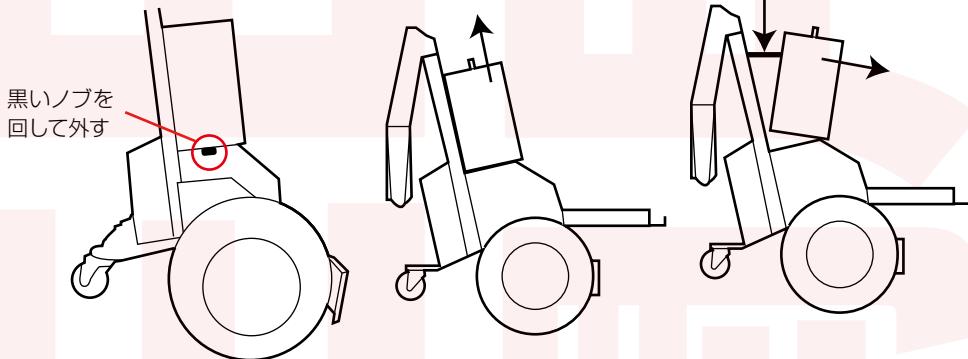
またインジケーターが全点灯の状態にして、1ヶ月に1回は充電をして下さい。

バッテリーの交換

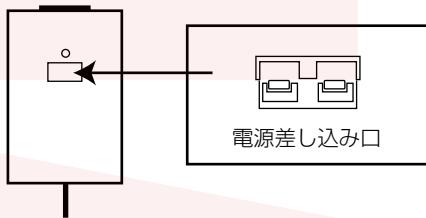


バッテリーは約 20kg あります。落とすと大変危険です。十分注意した上で交換作業を行ってください。

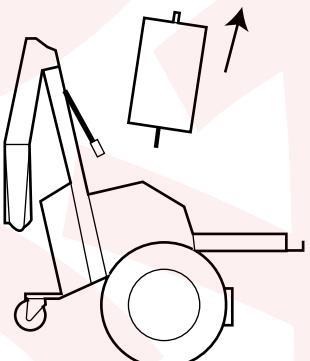
- ①台座下にある黒いノブを回して外し、バッテリーを少し持ち上げて、斜めに傾けます。※本体とケーブルで繋がっています。強く引っ張らないでください。



- ②電源ケーブルを外します。バッテリーの四角い穴の奥に差し込み口がありますので、電源端子を持って引き抜いてください。

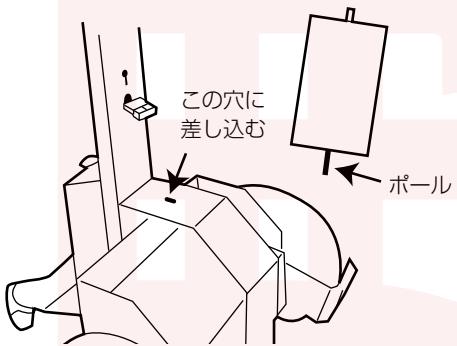


- ③そのまま上に持ち上げて、バッテリーを外します。

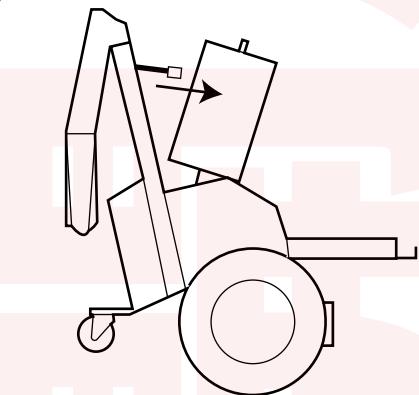
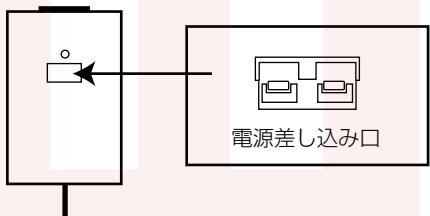


バッテリーの交換

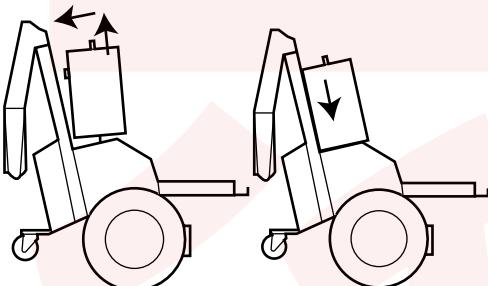
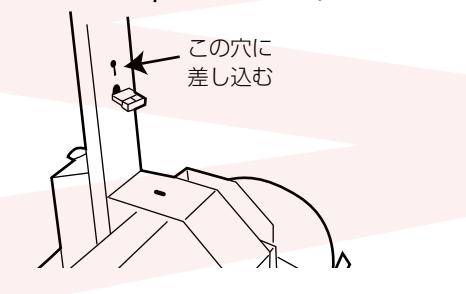
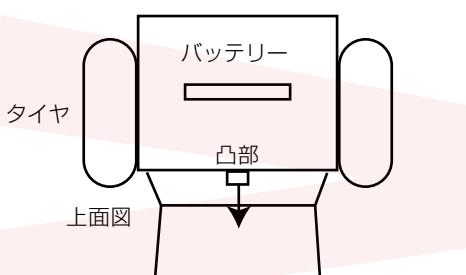
④新しいバッテリーをしっかりと両脇から抱え、底面にあるポールを本体台座にある穴に差し込みます。



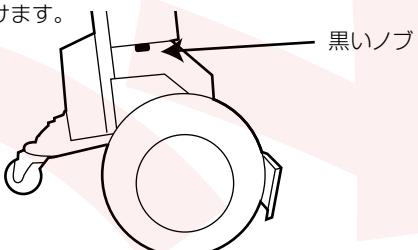
⑤電源端子をバッテリー内の電源差し込み口に差し込みます。本体側のケーブル部が長く飛び出ている場合は、少し穴の中にケーブルを戻してください。※ケーブルが長く出ていると、本体とバッテリーの間に挟みこまれてしまう場合があります。



⑥バッテリーをフレームに沿うように少し持ち上げ、バッテリーを真上から見ます。凸部を本体フレームに差し込みます。



⑦最後に台座下にあるポールに黒いノブを回して取り付けます。



主電源の入れ方

主電源の鍵を OFF→ON に回すと、電源ランプとバッテリーインジケーターが点灯します。

電源ランプはモードにより点灯が変わります。

- ・オートモード…点灯
- ・マニュアルモード…点滅

主電源の鍵は予備と合わせて2本付属しています。予備の1本は無くしたときのために大切に保管してください。



本製品から離れる場合や、本製品を使用しない場合は、必ず主電源の鍵を回して OFF にしてください。

モード切り替えについて

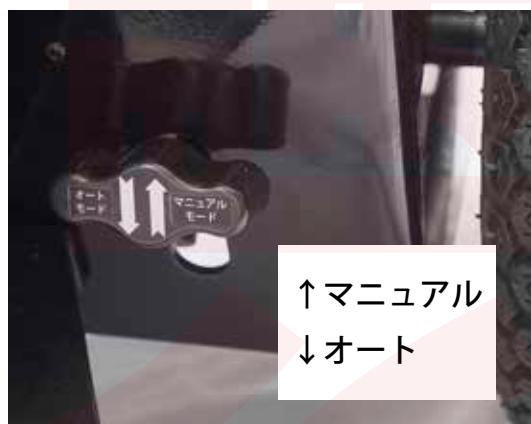
オート・マニュアル切替レバーで
オート（自動）マニュアル（手動）
の切り替えができます。

レバーを上に上げるとマニュアル
下げるときオートになります。

オートモード時は、手で押しても
メインタイヤがロックされて移動する
ことはできません。また電源が入った
状態で、マニュアルモードにして
も移動することはできません。

手で押して動かす際には、必ず電源
を切りマニュアルモードにしてください。

※電源が入った状態でマニュアルモードになると「ピピッピピッ」と警告音が鳴り続けます。



↑マニュアル
↓オート



マニュアル（手動）で動かす場合は、必ず電源を切った状態で行つ
てください。

●手で動かす…電源を切りマニュアルモード

●自動で動かす…電源を入れてオートモード

動かし方

動かす前に、必ずスピード調整ダイヤルを確認してください。最初は一番遅い状態(カメマーク側)での使用を推奨します。

スピードに慣れたら徐々にスピードを上げてご利用ください。



主電源が ON の状態で、オートモード時に操作レバー左右どちらかを動かすと、タイヤが動きます。

※両方動かす必要はありません。

操作レバーを倒す角度によってスピードが変わります。最初は操作レバーをゆっくりと倒してください。

操作レバーから手を放すと、動きが止まります。



操作レバーを勢いよく倒すと、急にスピードが出て大変危険です。

操作レバーはゆっくりと倒していってください。



カゴ台車を牽引する際は、周囲の状況を確認し、人や荷物に注意して動かしてください。

動かし方

荷物を引っ張る方向



前進



後進

操作レバーは進む方向に倒します。

手前に倒す（前進・荷物を牽引する方向）と、周囲の人に知らせる「ピーピーピー」という警
告音が鳴り続けます。

前進

後進

緊急停止ボタン

本製品には2箇所緊急停止ボタンが搭載されています。事故を防ぐために、危険を感じた場合は適切に使用してください。

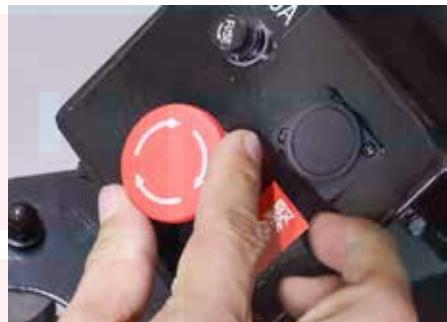
ハンドルにある緊急停止ボタンは、押すと動きが止まります。操作レバーから手を放し、再度操作レバーを倒すと動きを再開します。



緊急停止
ボタン



ハンドルにある緊急停止ボタンは、押すと動きが止まります。操作レバーから手を放し、再度操作レバーを倒すと動きを再開します。



下の緊急停止ボタンは、押すと動きが止まります。運転を再開させるには、緊急停止ボタンを矢印の方向に回します。

走行中に周囲に危険を知らせたい場合は、クラクションを押してください。



メンテナンス

安全な走行、長期間使用するために定期検査・メンテナンスを適切に行ってください。

- バッテリーについて（→P.5 安全上のご注意参照）

バッテリーは充電しておいても自然に放電します。バッテリーを使い切った状態で保管すると、バッテリーの放電により再充電が出来なくなる恐れがあります。1ヶ月に1度は充電をしてください。

- ご使用前に、異音や破損、変形がないか確認してください。
- ネジがしっかりと締められているか確認してください。
- 油漏れがないか確認してください。

鉛バッテリーは性質上、こまめに充電すると長持ちします。充電に時間もかかるので、なるべくこまめに充電することを推奨します。

メインタイヤの空気圧の確認

タイヤの性質上、空気は少しずつ漏れていきます。
タイヤを安全に長く使うためには、こまめに点検をして、指定の空気圧よりも下回らないように管理してください。

タイヤバルブから空気をいれてください。

空気圧 50PSI/3.5BAR

メインタイヤのサイズ

4.10/3.50-6 4PR



定期点検

本製品を安全にご使用いただくために必ず始業点検を実施してください。

始業点検は下記点検表に基づいて実施してください。

異常と思われる箇所が発見された場合は、直ちに使用を中止し、弊社サポートセンターまでご連絡ください。また修理が完了するまで本製品の使用はしないでください。

そのまま使用すると、破損および重大な事故につながるおそれがあります。

○始業点検表

区分	点検項目	点検方法	判断基準
ハンドル部	操作レバー	触手	正常に前進・後進ができる
			手を離すと常に停止する
	緊急停止ボタン	触手	前進方向に操作レバーを倒した状態で、緊急停止ボタンを押すと、即座に止まる
制御装置	ブレーキ	触手	正常に動く
		聴音	主電源が「OFF」で、オートモード時に前後方向に動かしても動かない
駆動装置	ドライブホイール	聴音	異音がしない

○1000時間ごと(半年ごと)

区分	点検項目	点検方法	判断基準
外観	フレーム	目視	損傷などがない
			ボルト等のゆるみがない
	カバー	目視	損傷などがない
車輪	駆動輪	目視	破損や歪みが無いこと
		目視	タイヤの溝が残っていること
		聴音	異音がしない
配線	ケーブル	目視	被膜の傷、めくれ等がない

故障かな？と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本説明書をよくお読みのうえ、以下の点を確認してください。

症状	考えられる原因	処置
電源が入らない	バッテリーが充電されていない	バッテリー残量を確認し、充電してください。(→P.11 参照)
手で押しても動かない	オートモードになっている	マニュアルモードに切り替えてください。 →(P.12 参照)
	電源が入った状態でマニュアルモードにしている	電源を切ってください。 →(P.12 参照)
ピピッピピッと音が鳴り続ける	電源が入った状態でマニュアルモードにしている	電源を切ってください。 →(P.12 参照)
途中で動かなくなつた	1000kg 以上の荷物を牽引している	荷物を減らし、サーキットブレーカーを押してください。

モーターの負荷が大きすぎる、積載重量オーバーなどの理由でサーキットブレーカーが働き、動作が止まる場合があります。

荷物を減らすなど負荷を減らした後、本体バッテリーボックス横にあるサーキットブレーカーを押すと、復帰します。

※サーキットブレーカーを押しても動作をしない場合は、バッテリー故障等の可能性があります。弊社サポートセンターまでご連絡ください。



仕様

サイズ	幅 660×奥行 940～1330×高さ 840～1250(mm)
重量	約 73kg
モーター / 出力	24V/400W
バッテリー	12V/28Ah×2 鉛バッテリー
目安稼働時間	約 2.5 時間※最大牽引時※積載状況により異なります。
充電時間	約 11 時間
充電器	入力:AC100-240V 50/60Hz 出力:DC 24V 2A
最大牽引量	1000kg (水平使用時)※力ゴ台車含む ※使用環境により異なります。
ハンドル角度	3段階調整
走行速度	2～6km/h
メインタイヤサイズ	4.10/3.50-6 4PR
ケーブル長	約 3m
内容品	本体、牽引フック、ボルト 4 本、ワッシャー 4 個、プレート 2 本、充電アダプター、電源ケーブル、日本語取扱説明書
保証期間	購入日より 12 ヶ月

1ヶ月以上使用されない場合はバッテリーが放電してしまう可能性があります。定期的に充電することをお勧めします。バッテリーの放電により再充電が出来なくなる恐れがあります。バッテリーの放電による故障に関しては保証の対象外となります。

※本製品は屋内使用を想定しておりますので屋外での使用には適しておりません。タイヤが破損した際には無償保証期間中でも有償となります。

※内容品に記載している以外の物は付属しません。

※操作方法を熟知したうえでご利用ください。

※ご使用中においてのお客様の過失による故障、破損、改造等はサポート保証の対象外となります。

※正しく使用されない場合に生じた事故等について弊社での責任は負いかねます。

※製品仕様は改善のため予告なく変更する場合があり、そのため説明書記載の内容と異なる場合があります。

サポートセンターのご案内

お問合せ・修理をご希望される場合

<https://www.thanko.jp/view/page/support>

にアクセスして、サポートページよりお問い合わせください。

QRコードを読み取ることでもアクセスすることができます。



不具合品のご送付先

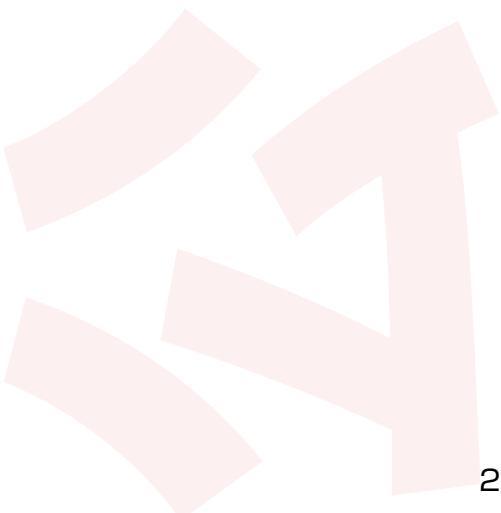
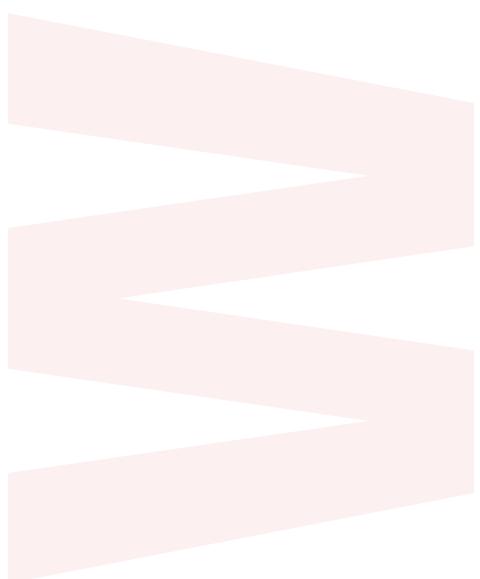
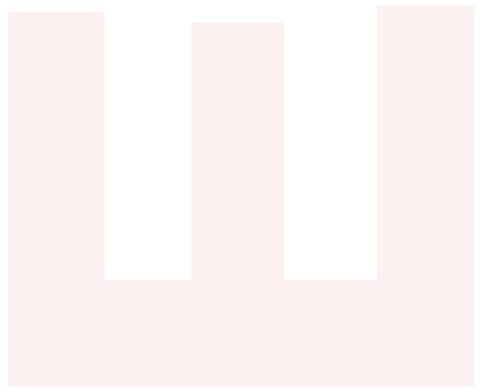
ご連絡なく修理品を送付された場合、そのまま返送となります。必ず上記のページからお手続き後、ご送付ください。

〒275-0024 千葉県習志野市西浜 2-3-1
EL 内 サンコーサポート宛

TEL 03-3526-4328

(月～金 10:00～12:00 13:00～18:00 土日祝日を除く)

お問合せメールアドレス :support@thanko.jp (自動返信にて上記 URL をご案内します)



サンコー株式会社

<https://www.thanko.co.jp/>